

祇園精舎ぎおんしょうじやの鐘かねの聲こえ、諸行無常しよぎようむじようの響ひびきき

あり。ラ変・終娑羅双樹さらそうじゆの花はなの色いろ、盛者必衰しようじやひつすいの格助(連体)

ことわりを格助(対象)あらはす。サ四・終おごれる人ひとも係助(並列)

久しからず。シク・未 打・終ただ春はるの夜よるの夢ゆめの格助(連体)

ごとし。比・終たけき者ものも係助(並列)遂すゐに副は滅めつびぬ。バ上二・用 完・終

ひとへに風かぜの前まえの塵ちりに格助(比較)同じ。シク・終

遠く異朝いちようを格助(対象)とぶらへば接助(順確偶然)、秦はたの格助(連体)

趙高ちようたか、漢かんの王莽おうもう、梁はりの朱异しゆや、唐とう

の格助(連体)禄山ろくさん、これら係助(区別)は皆みんな旧主きゆうしゆ先皇せんこう

の格助(連体)政せいに格助(対象)も係助(強意)従したがはず打・用、樂たのしみしみ

を格助(対象)きはめ、諫いさめめを格助(対象)も係助(強意)思おもひいれ打・用ず、

天下てんかの格助(主格)乱らんれラ下二・未婉わん・体体こと格助(対象)を格助(対象)悟わらラ四・未ず打・用

して、接助(単純)民間みんかんの格助(主格)愁しゆふる所ところを格助(対象)知ちらラ四・未

ざつ打・用・促しか過・已ば接助(順確原因)、久シク・未しから打・用ず接助(単純)して、

亡サ変・用じ完・用に過・体し者ものども断・終なり。ク・用近くほんちよう本朝ほんちようを格助(対象)

うかがふハ四・体に接助(単純)、承平じようへいの格助(連体)将門まさかど、天慶てんけい

の格助(連体)純友すみとも、康和やすかずの格助(連体)義親よしちか、平治へいじの格助(連体)

信頼しんらい、これらは係助(区別) おごれるラ四・已 存存・体 心こころ も係助(並列)

ク・体 たけき こと も係助(並列) 皆みな たりナリ・用 どりとり どりに こそ係助(強意) ありラ変・用

過・已 しか ども接助(逆確)、ク・用 間近く は係助(区別)、ろくはらろくはら 六波羅の入道にゆうどう

前太政大臣 平朝臣清盛公 と格助(引用) 申しサ四・用・謙 し 人ひと

の格助(連体) ありさま、伝ラ四・体・謙へ承る係助(強意)、心こころ も係助(並列)

詞し も係助(並列) 及バ四・未 ば ね可・未 ね打・已。